

# 鳥海イヌワシみらい館通信

Vol,35 2020年 夏号

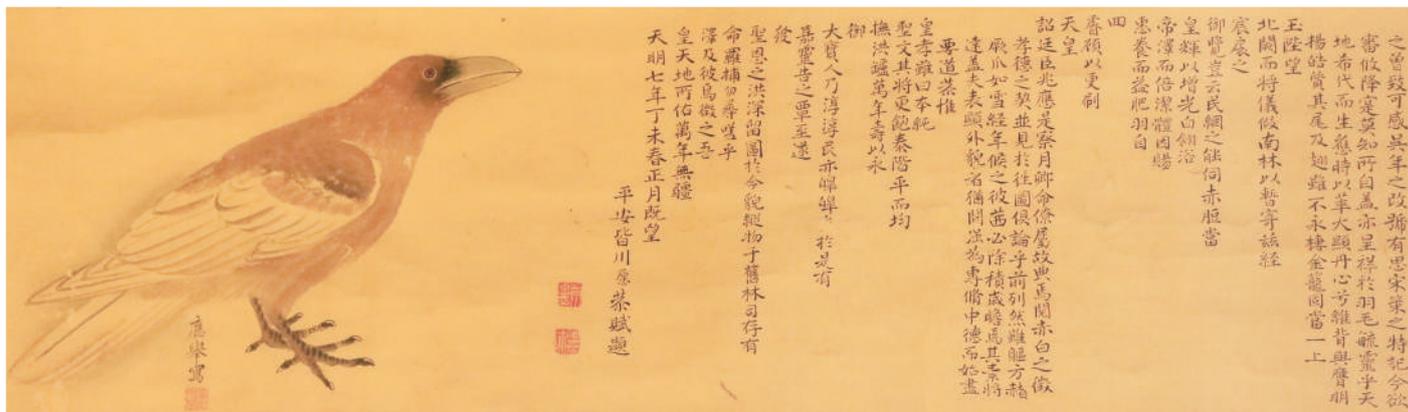


鳥海イヌワシみらい館  
マスコットキャラクター  
「ワッシーくん」



バードウォッチングへの誘い③③ 野鳥と絵画①  
発表！開館20周年記念イヌワシ絵画コンクール入賞作品  
蜂蜜の森から⑬「使い捨てミツバチ」

「コウノトリ」撮影：長船裕紀



「白鳥図」部分 (1787年)  
 円山応挙 筆  
 所蔵／公益財団法人 本間美術館

# 野鳥と 絵画 ①

円山 応挙 ●まるやま おうきよ  
 (1733-1795年)  
 丹波国桑田郡穴太村(現・京都府亀岡市)出身。谷中全生庵(東京都)の幽墨図、国宝「雪松図屏風」など名作を多く残した江戸時代中期を代表する絵師。「円山派」の祖であり、弟子の呉春が起こした四条派と合わせて「円山・四条派」とも呼ばれる。

**カ** メラも双眼鏡もなかった時代、バードウォッチングは大変難しいものでした。そんな中でも人々は野鳥や自然に関心を持っており、「花鳥図」といわれる一つの絵画ジャンルが庶民の間にも流行しました。江戸時代の絵師円山応挙は、「円山派」と呼ばれる絵師集団の始祖であり、当時の日本を代表する画家です。応挙は特に「写生」することを基本としており、当時まだ一般的でなかった「速写(スケッチ)」を取り入れ、見た様子をそのまま絵に起こす作風が評判だったようです。その応挙が京都・妙法院で捕獲された白いカラスを描いた作品が「白鳥図」です。当時から珍鳥の発見は人々の間で大きな関心ごとだったことがわかります。テクノロジーの発達した現在は、写真や映像で伝えられていますが、絵画作品という観点だけでなく、生物観察の記録としても野鳥たちが描かれてきたことがわかる日本画作品です。(図上)

**根** 上富治は山形県酒田市出身の画家で、帝展でも入選するなど活躍しました。この花鳥図で「小禽」として描かれた野鳥は頭部の冠羽や黄色い顔、雨覆いの褐色などの特徴が忠実に描かれておりミヤマホオジロと思われれます。花鳥図はその名のごとく「花」「鳥」(鳥以外の生物でも花鳥図と呼ぶ)で構成されますが、冬鳥であるミヤマホオジロは10～3月頃までが観察時期、バラの見ごろは春5～6月と秋10～11月とすれば、この花鳥図は春ではなく秋に描かれた作品ではないかということが推定されます。※季節とは関係なく、縁起の良い鳥と花を組み合わせ描かれる場合もあります。

根上 富治 ●ねあがり とみじ  
 (1895-1981年)  
 山形県酒田市出身。大正一昭和時代の日本画家で、東京美術学校(現東京芸術大学)を卒業、大正10年帝展で初入選、大正11年「銅鷹」、大正14年「軍鶏」が特選となる。写実に徹した作品を描くことを得意とし、昭和14年同志と日本画院を創立。昭和56年86歳で逝去。



「薔薇と小禽」部分 根上富治 画  
 所蔵／酒田市立資料館



所蔵／今井アートギャラリー

日本では江戸時代に「花鳥図」が流行し、多くの作品が生み出されました。世界を見てみますと、西洋絵画にも野鳥を取り扱った作品が多くあります。雨でフィールドに出られない日は、図鑑や写真を見ながら野鳥の絵を描いてみるのもおすすめです。

**今** 井繁三郎は「心象画」という作風で知られ、心の風景を絵画に表現してきた山形県を代表する近代画家です。額装された絵画作品ではありませんが、ご家族が所有する色紙にはアトリエから観察したと思われる「フクロウ」と、今井繁三郎氏が命名した当地の地名「泉野」の記載がありました。「深い雪の夜、お前の歌を聴いている私……」まさに繁殖期に泉野の森にやってきた2羽のフクロウがつがいを形成する前に鳴き交わしている情景が浮かびます。心に残された記憶をたどって描くことができるのは、確かな観察眼があつてのことだと思います。

今井 繁三郎 ● いまいしげさぶろう  
(1910-2002年)

明治43年鶴岡市羽黒町出身。昭和2年鶴岡中学校卒業後、芝絵画研究所、尾口古典研究所に学ぶ。昭和11年美術雑誌「美之国」の編集、後編集長。昭和16年従軍画家として海南島に赴く。昭和20年帰郷、白麴社発展に尽力、昭和22年自由美術協会再興。昭和36年改組県美術連盟初代運営委員長。平成元年より光陽会事務局長。平成2年今井繁三郎美術収蔵館開館。平成8年鶴岡市特別文化功績賞受賞。平成14年逝去。

**芸** 術作品ではありませんが、古文書資料として庄内藩酒井家に伝わる江戸時代の猟師を描いた絵巻物には、現在では保護鳥となっている「トキ」が3月11日に淀川村(現在の鶴岡市淀川町)の水田にて狩猟されたこと記されています。当時の狩猟の記録としても重要な資料ですが、鳥類の生息記録としても貴重な資料です。鳥や人物以外の背景にも注目すれば、当時の環境がどうだったか、鳥類がどういった環境で暮らしていたかも知る手掛かりとなります。



絵巻物(部分) 作者不明  
天保年間(1831-1845年 江戸時代後期)  
所蔵／公益財団法人 致道博物館

### 野鳥専門家の視点から 野鳥を描くことの 意義について

日本野鳥の会 山形県支部長  
築川 堅治氏 | Yanagawa Kenji

鳥を知るには絵を書くことをお勧めします。全体のバランス、雨覆や風切羽の重なり具合、嘴の形や長さ……写真や実物を見ながら、実際に書いてみると知っているつもりでも知らなかったことが見えてきて勉強になります。撮影できなかった頃はフィールドノートにその場でよく書いて、今となってはいい思い出になっています。



フィールドノート 1992年3月30日

# 鳥海イヌワシみらい館 開館20周年記念 イヌワシ絵画コンクール 入賞作品発表！

鳥海イヌワシみらい館の開館20周年を記念して募集していた「イヌワシ絵画コンクール」へたくさんのご応募いただきありがとうございました。審査によって選ばれた「東北地方環境事務所長賞」「山形県知事賞」「酒田市長賞」の特選作品12作品、「奨励賞」10作品、「佳作」20作品の合計42作品を発表します。

## 環境省 東北地方環境事務所長賞

小学校低学年の部



「ネズミをとったイヌワシ」  
(イヌワシ)  
酒田市立琢成小学校 2年  
河西 蓮華

小学校高学年の部



「大空の王者」  
(イヌワシ)  
鶴岡市立朝陽第五小学校 4年  
阿部 龍聖

中学校の部



「イヌワシの未来」  
(イヌワシ)  
鶴岡市立鶴岡第三中学校 3年  
毛呂 七鳳

一般の部



「始まり」  
(イヌワシ)  
山形県立寒河江工業高等学校 1年  
加藤 美月

## 山形県知事賞

小学校低学年の部



「なかよし親子」  
(フクロウ)  
鶴岡市立朝陽第三小学校 1年  
ザヤン・ザビル・オミヨ

小学校高学年の部



「鳥海の王」  
(イヌワシ)  
山形大学附属小学校 6年  
大黒 海翔

中学校の部



「狩りをするイヌワシ」  
(イヌワシ)  
鶴岡市立鶴岡第一中学校 2年  
佐々木 依鞠

一般の部



「狩場に立つ」  
(クマタカ)  
山形県飯豊町  
金野 やよい

## 酒田市長賞

小学校低学年の部



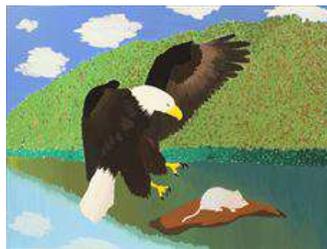
「もうきんりの楽園」  
(イヌワシ、アオバズク、オオコノハズク、ハヤブサ、オオタカ、オオワシ、シロフクロウ)  
山形市立蔵王第一小学校 3年  
小泉 優月

小学校高学年の部



「食事の時間」  
(フクロウ)  
鶴岡市立朝陽第五小学校 6年  
工藤 結友

中学校の部



「生きるために」  
(ハクトウワシ)  
米沢市立米沢第一中学校 2年  
遠藤 萌花

一般の部



「風立つ」  
(クマタカ)  
京都府亀岡市  
西久松 綾

# 奨励賞



「風をきって」  
(サシバ)

米沢市立三沢西部小学校 3年  
島扇 乙葉



「夕日にまぎれたフクロウ」  
(シロフクロウ)

庄内町立余目第四小学校 3年  
長南 椿稀



「よし原の狩人」  
(チュウヒ)

水原市立安野小学校 3年  
澤田 楽人



「夢に向かう3羽のフクロウ」  
(フクロウ)

鶴岡市立朝陽第一小学校 3年  
長南 椿稀



「ねずみをつかまえたフクロウ」  
(ワシミミズク)

鶴岡市立榊引西小学校 4年  
色摩 頼人



「大空をはばたくトビ」  
(トビ)

水原市立安野小学校 6年  
澤田 和希



「自然界を生きぬくオオワシ」  
(オオワシ)

豊田市立上鷹見小学校 4年  
宮部 碧



「休息の時間」  
(サシバ)

沖縄県中頭郡西原町  
伊禮 敏則



「くつろぐイヌワシ」  
(イヌワシ)

富山県富山市  
宮原 政二



「ツバメくるころ」  
(トビ)

京都府亀岡市  
松岡 美保子

# 佳作



「ハヤブサが飛んでるよみつけた」  
(ハヤブサ)

酒田市立黒森小学校 2年  
星川 いぶき



「見つめるイヌワシ」  
(イヌワシ)

酒田市立亀ヶ崎小学校 3年  
伊藤 優希



「獲物を探しているイヌワシ」  
(イヌワシ)

酒田市琢成小学校 3年  
澤野 大樹



「つよいハクトウワシ」  
(ハクトウワシ)

鶴岡市立朝陽第三小学校 1年  
西塚 心吾



「イヌワシとヘビとのたたかい」  
(イヌワシ)

鶴岡市立朝陽第三小学校 1年  
蛸井 悠真



「よるのフクロウ」  
(フクロウ)

鶴岡市立朝陽第二小学校 1年  
浦川 美帆



「愛する家族」  
(チョウゲンボウ)

三川町立東郷小学校 3年  
五十嵐 琉奈



「大空とイヌワシ」  
(イヌワシ)

鶴岡市立あつみ小学校 3年  
佐々木 優衣



「自然の姿」  
(イヌワシ)

酒田市立八幡小学校 4年  
齋藤 里奈



「ウサギをとったぞ！」  
(イヌワシ)

酒田市立八幡小学校 4年  
池田 優来



「狩りの時間」  
(イヌワシ)

酒田市立八幡小学校 4年  
石垣 陽翔



「家族といっしょだけれど・・・」  
(イヌワシ)

酒田市立八幡小学校 4年  
佐藤 楓祐



「大山のオオワシ」  
(オオワシ)

鶴岡市立朝陽第五小学校 4年  
伊藤 和夢



「仲間」

(イヌワシ、ハヤブサ、トラフズク、サシバ)

酒田市立琢成小学校 5年  
柳沢 さくら



「とびたつイヌワシ」  
(イヌワシ)

鶴岡市立あつみ小学校 4年  
五十嵐 咲陽



「ジー」  
(イヌワシ)

酒田市立鳥海八幡中校 2年  
加藤 凜々



「イヌワシ」  
(イヌワシ)

山形県鶴岡市  
芳賀 かすみ



「コロナウイルスなんかには負けない」  
(イヌワシ)

山形県酒田市  
赤塚 伸枝



「戻って来た母」  
(イヌワシ)

酒田南高等学校 1年  
高瀬 美来



「ハヤブサ」  
(ハヤブサ)

山形県酒田市  
佐藤 順

# 庄内の動物情報コーナー

山形県内でのコロナウイルスの感染状況はひと段落しております。人間の活動の自粛が続き、動物たちや環境にとっては負荷の少ない期間だったのかなとは思いつつも、世界の経済への影響は計り知れない大きなものでした。各地の自然情報をmoukin@raptor-c.comまでお寄せください。



2020/4/11 「クマタカ」庄内町  
森の王者はこの日も森をパトロール。この鷹斑(たかぶ)が目に入らぬか～！  
撮影：清原純哉様



2020/4/25 「アブラコウモリ」鶴岡市  
世界で今最もトレンドになっている生物のコウモリも、生物多様性の中の一員です。それぞれが必死で生きている宇宙船地球号の仲間。お互い様なんです。  
撮影：本間憲一



2020/5/2 「アオジ(白変種)」酒田市  
カナリア？いえ、アオジの白変個体。名前は青地なのに白変種だけでも黄色いなんて、ややこしすぎます！  
撮影：齋藤修様



2020/5/7 「コムクドリ」酒田市  
白い頭部に赤い頬模様。今年も繁殖のために日本にやってきたコムクドリです。  
撮影：秋葉様



2020/5/18 「ニホンジカ」遊佐町  
ダム湖の中を悠々と歩くシカ。湖の浅瀬に生える草を食んで森の奥に姿を消しました。撮影：渡会様



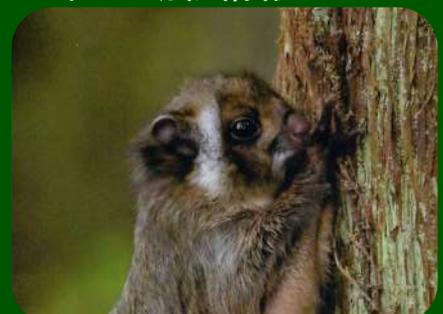
2020/5/20 「イソシギ」酒田市  
シギやチドリは庄内地方では旅鳥なので、タイミングを合わせないと出会えません。  
撮影：小池侑多様



2020/5/22 「コウライウグイス」酒田市  
黄色すぎる！黄色と黒は道路標識にも使われるほど組み合わせとしては目立つカラーリングなわけです。鳥界の目立ちたがり屋に決定！撮影：とし様



2020/6/12 「ノゴマ」酒田市  
シックな装いの中で、のどにワンポイントで入るオレンジが素敵です！鳥界のおしゃれさんに決定！  
撮影：とし様



2020/4/24 「ムササビ」新潟県  
自宅近くの杉の木にて偶然出会った住人。「(°д°)ハッ！見られた！」という感じの表情ですね。  
撮影：波多様

## 全国の動物情報コーナー

# イベント情報コーナー

## 開館20周年記念イヌワシ絵画コンクール作品展

応募いただいた全199作品の巡回展示を山形県庄内地域の下記3会場にて開催します。

### 【巡回展日程】

#### 【① 酒田市総合文化センター モール】

住所 山形県酒田市中央西町 2-59  
期間 令和2年7月18日(土)～26日(日)  
時間 9:00～22:00(日曜・祝日は17:00まで)

#### 【② 鳥海イヌワシみらい館 展示室】

住所 山形県酒田市草津湯ノ台 71-1  
期間 令和2年8月1日(土)～9月27日(日)  
時間 9:00～16:30

#### 【③ エス・モール イベント会場】

住所 山形県鶴岡市錦町 2-21  
期日 令和2年10月10日(土)～18日(日)  
時間 10:00～19:00

8月1日より鳥海イヌワシみらい館・猛禽類保護センターに来てくれた方には開館20周年記念「オリジナルボールペン」「ワッシーくん手ぬぐい」をプレゼントします！なくなり次第終了となりますのでご了承ください。

### お問合せ

鳥海イヌワシみらい館(猛禽類保護センター)  
TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683  
E-mail:moukin@raptor-c.com

鳥海イヌワシみらい館 開館20周年記念  
**イヌワシ絵画コンクール  
作品展**

鳥海イヌワシみらい館の開館20周年を記念して募集していた「イヌワシ絵画コンクール」ですが、厳正な審査により選ばれた「東北地方環境事務所長賞」「山形県知事賞」「酒田市長賞」「奨励賞」「佳作」42点を含む全約200点を庄内の3つの会場で展示します。鳥海イヌワシみらい館に来てくれた方には開館20周年を記念して豪華記念品をプレゼント！みんなで見て来てね！

【①酒田市総合文化センター モール】  
住所 酒田市中央西町2-59  
期間 令和2年7月18日(土)～26日(日)  
時間 9:00～22:00(日曜・祝日は17:00まで)  
料金 無料

【②鳥海イヌワシみらい館 展示室】  
住所 酒田市草津湯ノ台71-1  
期日 令和2年8月1日(土)～9月27日(日)  
時間 9:00～16:30  
料金 無料

【③エス・モール】  
住所 鶴岡市錦町2-21  
期日 令和2年10月10日(土)～18日(日)  
時間 10:00～19:00  
料金 無料

主催 猛禽類保護センター活用協議会  
お問い合わせ TEL 0234-64-4681 mail:moukin@raptor-c.com

20周年を記念して来場者プレゼント！  
8月1日より鳥海イヌワシみらい館に来館してくれた方に、オリジナルボールペン、手ぬぐいをプレゼントします！(なくなり次第終了となりますのでご了承ください！)

オリジナルボールペン  
オリジナル手ぬぐい

## 夏休み体験プログラム

期 日 令和2年8月1日(土)～16日(日)  
時 間 9:30～ 10:15～ 11:00～  
13:30～ 14:15～ 15:00～  
会 場 鳥海イヌワシみらい館・猛禽類保護センター  
内 容 ①8月1日(土)～9日(日)  
蜜ろうそく作り・エコバッグ作り・サーモンフライ小物  
②8月10日(月)～16日(日)  
ハンドクリーム作り・ドリームキャッチャー作り・  
アントラースプーンフォーク作り  
参 加 費 蜜ろうそく作り400円、エコバッグ作り300円  
サーモンフライ小物300円  
ハンドクリーム作り300円、ドリームキャッチャー作り300円  
アントラースプーンフォーク作り400円  
申 込 必 要※3密防止のため予約制となります  
募 集 定 員 詳しくはお問い合わせください  
※体験を希望される日の時間とプログラム内容をお知らせください。  
TEL 0234-64-4681  
moukin@raptor-c.com

鳥海イヌワシみらい館(猛禽類保護センター) 短い夏休みだけど、家族の思い出作りに工作をしてみよう！1週間に3つのプログラムが体験できるよ！

### 夏休み体験プログラム

期 間 令和2年8月1日(土)～16日(日)  
時 間 ①9:30～ ②10:15～ ③11:00～ ④13:30～ ⑤14:15～ ⑥15:00～  
お申込み 必要 ※申し込みはなくても当日空きがあれば参加可能です。  
※3密回避のため体験人数については制限させていただきます。詳細はお問い合わせください。  
お問い合わせ: 鳥海イヌワシみらい館 TEL0234-64-4681 mail:moukin@raptor-c.com

令和2年8月1日(土)～9日(日)

蜜ろうそく作り 1個400円	エコバッグ作り 1個300円	サーモンフライ小物 1個300円
----------------	----------------	------------------

令和2年8月10日(月)～16日(日)

ハンドクリーム作り 1個300円	ドリームキャッチャー作り 1個300円	アントラースプーン・フォーク作り 1個400円
------------------	---------------------	-------------------------

●おり紙・ぬり絵コーナーもありますので、小さいお子様も一緒にお越しください。



# 蜂蜜の森から

## 第14回「使い捨てミツバチ」

山形県朝日町で蜜ろうそくの制作を通して、自然のすばらしさを伝えている安藤竜二さんによるコラムのコーナー第14回目です。蜂蜜の森を通して私たちが暮らす環境を見つめなおしてみませんか？



ハチ箱の移動



受粉

農薬で媒介昆虫がいなくなった農園では、ミツバチによる花粉交配は欠かせません。採蜜を専門とする養蜂家は、農園に花が咲く一時だけミツバチをレンタルします。それが終わると農薬のない山奥で飼育しハチミツを収穫します。

しかし、農園だけで一生を終えるミツバチたちもいます。それは「使い捨てミツバチ」です。およそ3万匹のセイヨウミツバチの家族を3000匹とか5000匹に分け、段ボールやベニヤ板の粗末な箱に入れられ、女王蜂なしで農家に販売されます。

悲しいことに、花粉交配が終わったら巣門を閉めて焼き殺されるという理不尽な運命の蜂たちです。(業者によっては回収してくれます)人とミツバチのギブ・アンド・テイクな養蜂に憧れる私には、正直心痛む現実です。しかし、そんな蜂たちの大きな働きのおかげで私たちの食べる多くの野菜や果物が実っているのが事実なのです。

この蜂たちは大きな問題も抱えています。蜂数が少ないため衛生状態を保てず、病気が発生しやすく

周辺の健康なミツバチの群れにも感染させてしまうのです。自然界では、小さな群れのミツバチは、大きな群れにハチミツを奪われて淘汰する摂理があります。そのハチミツとともに病原菌も運ばれてしまうというわけです。

だから、販売業者は焼却処分することを前提に農家に販売しているのですが、心やさしい農家さんは、殺せず、もしかしたら来シーズンも使えるのではという期待から放置してしまうのが現状なのです。



安藤竜二 (あんど う りゅうじ)  
1964年生まれ。養蜂を学んだ後1988年に、日本ではじめての蜜ろうそく製造に着手。ハチ蜜の森キャンドル代表。NPO法人朝日町エコミュージアム協会副理事長。アシナガバチ畑移住プロジェクト主宰。編著『朝日岳山麓養蜂の営み』(朝日町エコミュージアム研究会発行)



Illustrated by Masami Tsuno

©鳥海イヌワシみらい館

### 普及啓発担当

猛禽類保護センターは今年20周年です！皆様に支えられて20歳を迎えることができました。本当にありがとうございます。これからもご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。(本)

### 事務局

出退館途中でクマ、アナグマ、イタチを目撃しました。みなさんも来館の途中で出会えるかもしれません。自然の恵みを感じます。(後)

### 希少種保護増殖等専門員

7月18日-は七十二候で「鷹乃学習」。今年も休日モニタリングしていた庄内地域の猛禽類、50ペア以上の巣立ちを確認しました♪(長)

### 鳥海南麓自然保護官

9月末までイヌワシ絵画コンクールの作品を展示しています。見に来てください。(澤)

## 編集後記&施設情報 鳥海イヌワシみらい館 7月~9月の開館情報

開館時間・・・9:00~16:30

入館料・・・無料

休館日・・・無休

臨時休館日はホームページにてお知らせします。

ホームページアドレス : <http://www.raptor-c.com/>

<https://www.facebook.com/Raptoreagleraptor>

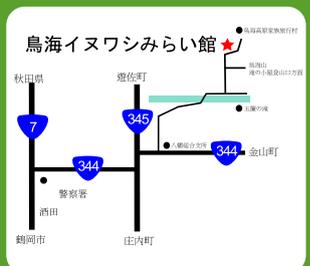
### 猛禽類保護センター

〒999-8207

山形県酒田市草津湯ノ台71-1

TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683

E-mail: [moukin@raptor-c.com](mailto:moukin@raptor-c.com)



鳥海イヌワシみらい館通信  
Vol.35 夏号

発行: 猛禽類保護センター活用協議会  
(事務局 鳥海イヌワシみらい館内)